

女子決勝 7月20日(日) 寒河江市民体育館 12:20

山形市立第四	60	19 - 6	40	山形市立第六
		20 - 8		
		11 - 19		
		10 - 7		

【戦評】

第1P, 山形六中はオールコートマンツーマン, 山形四中はハーフコートマンツーマンでスタート。六中は⑧のジャンプシュートで先制する。対する四中は⑥, ⑦の連続3p, ⑥のリバウンドからのシュートで流れを引き寄せ。山形六中も⑧, ⑩のドライブを中心に攻めるがなかなかシュートが決まらず, 4分を経過したところで12-6。四中は⑥の3pが再び決まり, 一気にペースをつかむ。残り2分, 六中は前半一回目のタイムアウトで立て直しを図る。六中は1-2-2ゾーンに切り替えるが, 自分たちのミスからなかなかペースをつかめず, 19-6で1Q終了。

第2P, 六中は④のバスケットカウントで好スタート。四中は④のドライブからのジャンプシュート, ⑦の3pでリードを広げ, 残り6分で24-10。六中はドライブ中心に攻め, ファウルをもらうが得点が伸びない。逆に四中は⑦が積極的にオフェンスリバウンドに絡み, ゴール下のシュートで加点する。残り2分半で六中は2回目のタイムアウトを請求し, ハーフコートマンツーマンに切り替える。しかし流れは変えられず, 四中⑧のゴール下シュート, ⑪のフリースロー, ⑥のドライブ, 3pが決まり, 39-14で前半終了。

第3P, 両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。六中⑩のシュート, ⑨のフリースロー, ドライブ, リバウンドシュートで連続得点し, 残り5分で41-20。ここで六中はディフェンスをオールコートマンツーマンに切り替える。四中は⑦のドライブ, 3p, リバウンドからのブレイクで対抗する。流れを変えたい六中は残り2分半で後半1回目のタイムアウトを請求。さらにディフェンスのプレッシャーを強め, ⑦の3p, ④のゴール下シュート, ⑧のレイアップで点差を縮め, 50-33で第3P終了。

第4P, 四中④のドライブでの得点からスタート。3分が経過し, 四中⑥のドライブが決まり54-33となったところで六中2回目のタイムアウト。両チームともシュートが決まらず我慢の時間帯が続くが, 六中⑧のドライブ, ⑤の速攻で加点する。四中⑤のゴール下シュートが決まり, 残り2分半56-37となったところで, 六中が最後のタイムアウト。六中⑩の3Pが決まるが, 四中は④, ⑥と中心にゲームをコントロールし, ⑧のジャンプシュートやフリースローでリードを広げ, 60-40でタイムアップ。山形四中が16年ぶりの優勝に輝いた。山形四中は外角からのシュート, 攻守ともにリバウンドに積極的に絡む姿が光った。敗れはしたものの, 最後まで攻めの気持ちと粘り強いディフェンスを貫いた山形六中にも拍手を送りたい。【山形県バスケットボール専門委員 菊地 哲郎】